

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年4月15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0893400028		
法人名	社会福祉法人 清河会		
事業所名	サングリーンピア大子ケアセンター	ユニット名	—
所在地	〒319-3361 茨城県久慈郡大子町頃藤4144		
自己評価作成日	平成25年9月28日	評価結果 市町村受理日	平成26年4月7日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_021_kani=true&JigyosyoCd=0893400028-00&PrefCd=08&VersionCd=021
-----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成25年11月20日	評価機関 決裁日	平成26年3月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

- ・ご利用者様やご家族様のご希望に添って予定変更や送迎時間など柔軟な対応を心掛け、ご家族様の心身の負担軽減を図り、共に支えあう関係作りに努めています。
- ・家庭的な雰囲気の中で顔なじみの職員がご利用者様の要望に合わせ、時には家族のように時には友人のように、お一人お一人の個性を大切にサービスを提供させていただいております。
- ・職員が独自に考案した様々な手作りのレクレーションを提供し、ご利用者様と職員が一体となって笑い声のある楽しい時間を過ごしています。
- ・近隣の小中学校、保育園、長寿会等の慰問受け入れや時間制限のない面会などで地域住民との交流を図れますよう努めています。
- ・居室、フロアともに広いスペースの中でゆったりとした時間を過ごさせていただいております。
- ・ご本人様の好みの嗜好品などの持込を受け入れて管理させていただいております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は山林に囲まれた自然豊かな観光地の街道沿いに立地している。
近隣に保育園や小学校、中学校があり、保育園の運動会や小学校の音楽会、中学校の職場体験学習を通して交流しているほか、特別支援学校の子ども達とも盛んに交流している。
地域の「長寿会」の人々が来訪し、利用者と一緒にお茶を飲んだり、避難訓練に近隣住民が参加するなど、地域の人々と積極的に交流している。
居間や廊下の壁に手摺を取り付け、利用者が安全に歩行ができるよう配慮しているほか、トイレにタオルウォーマーを設置して排泄後の清拭時に温かいタオルが利用できるよう配慮している。
送迎時間や宿泊の日程などは、利用者や家族等の希望にそって柔軟な対応をしている。
管理者は職員の意見や要望を積極的に取り入れ、職員を増員したり利用者の外出の機会を増やしたりして、サービスの質の向上に反映させており、職員も遣り甲斐を感じながら生き生きと仕事に取り組んでいる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員により作成された理念を事業所内壁に掲示して職員間で常に理念を共有して理念に添ったサービスの提供を実践しております。	開設時に全職員で話し合い、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、食堂に掲示している。 月1回開催する全体ミーティングで全職員で唱和し、共有を図りながら理念にそったサービスを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の保育園の慰問を受け入れ、歌や踊りなどを一緒に楽しんだり運動会へ出向き種目参加をしております。又長寿会の訪問にて一緒にお茶を飲みながらの歓談を楽しんだり、中学校の職場体験なども受け入れ様々な交流の機会を設けております。近隣の中学校のマラソン大会時には沿道で応援しております。	年1回近隣の保育園児が来訪し、歌や踊りを披露してくれたり肩もみをしてもらうことが利用者の楽しみになっている。 利用者は職員と一緒に保育園の運動会で玉手箱などの競技に参加したり、近隣の小学校を訪問して児童による音楽会を鑑賞したりしている。 中学生の職場体験学習を受け入れ、レクリエーションの時間に生徒と利用者でカードゲームなどをして交流を図るほか、生徒から職場体験のお礼として合唱が披露されている。 地域の長寿会の人々が来訪し、利用者と一緒にお茶を飲みながら楽しく歓談をしている。 利用者と職員は散歩時に近隣の店に立ち寄りたり、地域住民と挨拶を交わしたりしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	相談等を頂いた方には、認知症についての症状の理解や支援法についてお話をさせていただいております。運営推進会議などで認知症についての話題となった時にも説明等行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会を構成し、2ヶ月に1度の開催時には事業報告及び委員の方々との活発な意見や情報の交換、質疑応答を行い指導を頂きながらサービスの質の向上に活かしております。	運営推進会議は隣接する同一法人のグループホームと合同で、家族等や町職員、地域包括支援センター職員、区長、民生委員、地域住民の代表で2ヶ月に1回開催している。 会議では町職員から介護保険関連の情報などを得ている。 委員から職員の介護技術向上を促す助言を受け、年2回介護技術向上のための講習会を実施しており、おむつの業者から専門のアドバイザーを呼び、「利用者に負担のない排泄援助」を学ぶなど、会議で出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	2ヶ月に一度の運営推進会議にて市町村担当者や包括支援センターからの介護保険関連情報を頂いております。又、窓口にてご利用者様の介護保険認定情報の提供や利用状況の報告などを随時行っております。	管理者は町役場に出向き、担当者から介護保険制度の変更内容や、利用者の要介護認定申請の結果の情報を得ているほか、利用状況を報告している。 町と町社会福祉協議会、医師会が合同で開催する認知症ケアの研修会に管理者が参加するなど、日頃から協力関係を築いている。 管理者は町の地域包括支援センターに出向き、利用希望者の相談などを受けている。 利用者の家族等に代わっておむつ券の発行手続きをするなど、行政のサービスが円滑に利用できるように支援している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ご家族様には契約時に重要事項説明書により身体拘束の禁止についての説明を行い同意を頂いております。身体拘束禁止マニュアルを事業所内の見やすい場所に設置して職員がいつでも確認できるようにしております。不審者侵入防止の為玄関はオートロックになっておりますが、管理者在中は解錠して出入り自由となっております。	管理者は身体拘束に関する外部研修に参加しているほか、身体拘束禁止マニュアルを事業所内に掲示し、職員と身体拘束となる具体的な行為を確認しながら身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、内部研修を行っておらず、身体拘束の具体的な行為について全職員で共有するまでには至っていない。 契約時に利用者や家族等に重要事項説明書で身体拘束を禁止していることを説明し、現在身体拘束を行っている利用者はいないが、やむを得ず身体拘束を行う必要が生じた場合に作成する同意書や経過観察記録、再検討記録などを備えるまでには至っていない。 玄関はオートロックになっているが、早朝や夜間以外は施錠せず、自由に出入りができるようにしている。	身体拘束の具体的な行為は、全職員が共通認識を持つことが望まれるため、身体拘束禁止マニュアルを基に内部研修を行い、全職員で共有することを期待する。 緊急やむを得ず身体拘束をする場合に備え、同意書や経過観察記録、再検討記録などの書類を整備することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内外で高齢者虐待防止法等についての勉強する機会を設け、職員間での共通の認識と理解を図れるよう努めて行きます。職員間でもお互いに日々注意を払い、虐待防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人内外で権利擁護等についての勉強する機会を設け、職員間での理解を深められるよう努めて行きます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時において、重要事項説明書並びに契約書及び利用料金についての説明を十分に行い、疑問点などにもその都度説明を行い、ご家族様、ご利用者様の理解、納得を得られるよう図っております。内容の変更や改定等の際は事前に文書にてお知らせするよう契約書に明記し契約時に説明しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にご家族様にも参加していただき町職員、民生委員、地域住民代表の方との意見交換の場を作っております。又、無記名の家族アンケートを実施し、ご家族様の思いを汲み上げ、職員会議で話し合いを行い、運営に反映させるよう努めております。	職員は利用者との日常の会話の中で意見や要望を聴いているほか、家族等からは連絡帳で意見交換を行ったり、年1回無記名のアンケートを実施して意見や要望を汲みあげ、出た意見等は職員会議で話し合い、運営に反映させている。 利用者から出た意見を取り入れて利用者と職員が一緒におやつを手作りしているほか、家族等の意見を取り入れて連絡帳に排泄回数や排泄量を記録する項目を追加したり、1週間毎に献立表を配布したりしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は月1回の主任会議や職員会議へ参加して、職員からの意見や要望を聞く機会を設けております。又、職員一人ひとりとの対話の機会をつくり、意見や要望を聞くよう努めております。	管理者は、月1回職員会議を開催し、職員の意見や提案を聞く機会を設けているほか、日々の業務の中で一対一で話す時間を設けて意見や提案を聞くよう努めている。 業務の多様化や業務量の増加により、職員を増員してほしいとの希望を受け、パート職員や送迎の運転手を雇用している。 配膳カートを購入して配膳時の職員の負担を軽減するほか、泊まりの部屋に備え付けられている利用者が使うチェストの中が見えないようカーテンを手作りしたり、外出の機会を増やしたりするなど、職員の意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年度自己評価シートの提出を行い、個々の職員の職場環境や労働条件などに対する意見や希望を参考として、職員各自が向上心を持って働き続けられるよう環境、条件の整備に努めてゆきます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が法人内外の研修に参加できるよう配慮しております。職場内研修、勉強会も随時行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人事業所の合同会議を月1回開催して、情報交換や検討会を行い、サービスの質の向上に努めています。町社協主催の研修会にも参加してネットワーク作りに取り組んでおります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始される前にご自宅を訪問して、ご本人様との面談を行い、会話の中からご本人様の思いを引き出し、受け止められますよう、受容と傾聴の姿勢に努めています。不安や要望のひとつひとつに細やかな説明を行いながら不安を軽減でき、安心して利用していただけますよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用される前の面談や準備段階を通して、ご家族様が不安や要望を気兼ねなくお話していただけますよう傾聴、共感しながら話しやすい雰囲気、環境作りに配慮して信頼関係の構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始前の面談において、ご本人様及びご家族様の必要とするサービスを見極め、他のサービスや社会資源を必要としている場合には、情報提供などの対応に努めております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様の心身の状態に合わせて、日常生活のお手伝いをさせていただいております。又、人生の先輩として季節行事や生活の中の知恵など助言、指導を仰ぎ、年長者としての自尊心を高めていただけるよう努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用時のご本人様の細やかな生活の様子や心身の状態を連絡ノートへ記録して常に情報を共有しながら支援しております。送迎や面会時や必要時には電話にて連絡を密にして常に家族との意識を持っていただけますような関係構築に努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	サービス利用時のご家族様や知人の面会は時間制限することなく対応させていただいております。又、職員はご利用者様の生活歴をご本人様ご家族様よりお聞きし把握して、日々のケアに役立てるよう努めております。	職員は家族等や知人、友人などの来訪時には時間を制限することなく、いつでも面会ができるように支援している。 利用者は家族等の支援を受けながら、馴染みの理・美容室や歯科医院へ通っている。 職員はかかりつけ医への送迎時に、利用者の馴染みの店に立ち寄り、買い物に付き添うなどして関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係性を把握し座席の配置に配慮しながらご利用者様同士のコミュニケーションが図れますよう努めています。ご利用様全員が関わりあえ協力しながら行えるレクリエーションを実施しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族様の事情により特養利用となられた方を継続的に面会して状況確認、声掛け等を行っております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の状況の中で常にお一人お一人の思いや意向を把握できますよう、ご本人の発した言葉には「」をつけて記録に残し全職員が共有できる様工夫し、個々の生活を見つめております。	職員は日常の会話の中で利用者の意向や希望の把握に努めている。 会話が困難な利用者には、利用開始時に家族等から得た生活歴などの情報を基に、表情やしぐさを読み取ることにより、思いや意向を把握するように努めている。 新たに把握した利用者の希望や意向は、日々の個人記録に記載するとともに全職員で話し合って共有することになっているが、記録に残すまでには至っていない。	利用者一人ひとりの要望にそったサービスを提供するためには、日々の生活や会話の中で把握した利用者の思いや意向が重要な情報源となるため、新たに把握した情報を個人記録に記載する場合は、アンダーラインを引くなどして全職員が共有できるよう工夫することを期待する。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	申し込みをされた時点からサービスの利用開始段階においてご本人様やご家族様からの聞き取りにより必要な情報の把握に努めております。又、他事業所との連携を図り情報収集を行い、現状に至るまでの経過等の把握に努めております。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活を支援させていただきながら、お一人お一人の有する能力を見極めながら、ご自分で出来る事や援助が必要な事を話し合いを行い、全職員が把握するよう努めております。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画はご本人様、ご家族様の希望をお伺いしながら、お一人お一人の生活の中の解決すべき課題を抽出し、現状に即した介護計画を作成しております。心身の状態に変化が見られた時や必要と思われる時にはその都度見直しを行ってゆきます。	介護計画は利用者や家族等、職員で話し合っで作成している。 毎月モニタリングを実施するとともに、短期計画は3ヶ月毎、長期計画は6ヶ月毎に見直している。 入院中の新規の利用希望者が退院時には職員が病院を訪問して看護師や理学療法士などと話し合い、得た情報を介護計画に反映させている。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、その都度現状に即した介護計画に見直している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の日常生活の様子の変化や気付きなどは、個別の生活記録に記入し、特に重要と思われる事由は「申し送りノート」に記入して時間差のある出勤時間に必ず目を通すことを義務付け、職員間での情報の共有に努め実践に活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様やご本人様の急な要望や都合など、その時々に変化するニーズに合わせ随時、通い、宿泊、訪問予定の変更に対応させていただきます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人様が安心して毎日を過ごす事ができますよう、主治医や他医療機関、消防署等との連携を図っております。又、日々の生活が楽しみのある豊かなものとなりますよう近隣保育園、小中学校、長寿会との交流や行事参加、ドライブ外出、ボランティア慰問の受け入れ等を行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	長年の信頼関係を築いて来られた個々のかかりつけ医への受診継続を支援しております。ご家族様受診時には必要な情報や記録を提供しております。受診後は結果や服薬の変更などを確認しております。ご家族様が付き添い困難な場合は受診同行の支援も行っております。	職員は今までのかかりつけ医を継続して受診ができるよう支援し、家族等の付き添いが困難な場合は職員が付き添って受診支援をしている。 家族等が付き添う場合は利用者の心身の状態や日頃の生活の様子を口答や記録で家族等に提供し、受診結果や服薬の変更などを直接聞いて確認するとともに、個人記録簿に記載している。 職員が付き添った場合は、その日のうちに家族等に薬の情報も含めて電話で結果を報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日の健康チェックを行い、体調変動の早期発見に努めております。異常が見られたときには事業所看護師や訪問看護師、同法人看護師に状況を報告し、適切な処置や対応が受けられますよう支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院となった場合は、安心して治療が出来、早期退院が出来ますよう、医療機関との情報交換やカンファレンスを開催するよう支援させていただきます。又、状態確認の為の面会等も行い、日頃から医療機関との連携が図れますよう努めてゆきます。	/	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所内で終末期ケアのあり方について話し合いや研修を行っております。現段階では、看護職員配置体制の検討等を行っております。	管理者は重度化した場合の対応については重要事項説明書で利用者や家族等に説明して同意を得ているが、終末期に向けたサービス提供については今後の課題と捉えている。 「終末期介護マニュアル」を作成しているが、協力医療機関との連携や事業所内の体制づくりがなされておらず、方針が未確定のため、看取りに関する指針や同意書を作成したり、利用者や家族等の意向を早い段階から確認したりするまでには至っていない。	管理者や職員、協力医療機関で話し合い、重度化や終末期に向けた事業所の対応方針を定めるとともに、看取りの指針や同意書を整備し、利用者や家族等に早い段階から説明して同意を得ることを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご利用者様の急変時の対応について、看護師指導の職員勉強会やAED使用法の勉強会を実施しております。	/	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の指導の下、月1回の避難訓練を計画、実施し、年1回は消防署員、車両の派遣を要請し、消火訓練を実施しております。その際は地域住民へ参加を呼びかけるお知らせを配布し、運営推進会員の協力を得て実施いたしました。	夜間の火災や地震を想定した避難訓練を毎月実施しているほか、年1回消防署指導のもと消火訓練を実施し、避難訓練に近隣住民の参加を得ている。 避難訓練後は反省点を記録に残し、全職員で話し合っ改善につなげている。 備蓄品として水を加えて作る災害用のご飯や缶詰、レトルト食品、菓子、飲料水、おむつ、懐中電灯を備え、リストを作成して定期的に数量や賞味期限を点検している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全職員がご利用者様お一人お一人を個人として尊重し、尊厳のある言葉掛けや入浴や排泄関係の声掛けは耳元で行うよう配慮してプライバシー保持を心掛けております。個人情報に関する書類は、事務所内鍵のかかる書庫に保管しております。	職員は利用者一人ひとりの尊厳を大切した言葉かけに努め、排泄や入浴時には個人の耳元で声かけを行い、プライバシーに配慮しながら、誇りや人格を尊重したサービスに取り組んでいる。 個人情報に関する書類は事務所の鍵のかかる書棚に保管し、情報の漏洩に留意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で言葉掛けの機会を多く持つ事で、ご利用者様の発する言葉に耳を傾け、行動や表情にも気を配るよう努めております。そのため、ご利用者様の訴えに早い段階で気付くことが出来、ご本人様の意思表示に迅速に対応し、自己決定の働きかけをしながら支援しております。	/		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の日課は団体行動を強制することなく、お一人お一人の好みやペースに合わせて過ごしていただけますよう支援しております。ご希望に合わせて入浴の順番や日にち変更、食事時間をずらす等柔軟に対応させていただいております。食後のゆっくりとした休息のためにベッドやソファも準備しております。	/		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣介助の際には、ご本人様の希望に添った衣類の選択を支援しております。起床、入浴、口腔ケア等鏡の前に立たれた際には声掛けにより鏡を見ていただき整容、整髪を支援しご本人様の意識、意欲向上に努めております。職員は、常に状態観察を継続して身だしなみにも気配りを行っております。	/		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様の状態に合わせ、負担とならない程度のお手伝いをお願いしております。又、昼食はご利用者様と一緒に同じテーブルで同じメニューを食し、味や献立など共通の話題がもてますよう努めています。	職員は利用者の食べこぼしなどに注意を払いながら同じテーブルで同じ食事を摂っている。プランターで収穫した野菜を食材に取り入れ、季節感のある献立となるよう工夫をしているほか、利用者の誕生日には行事食を提供したり、利用者と職員で一緒におやつを作ったりして食事が楽しめるよう支援している。食時が楽しみなものになるよう年間の行事計画に、季節毎にドライブを兼ねた外食を組み入れて実施している。利用者は職員と一緒にテーブル拭きや後片付けなどを行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お一人お一人の水分、食事摂取量を記録し、全職員が一目で把握できるよう工夫しております。ご利用者様の状態に合わせた食事形態や量、生活習慣や嗜好に応じた支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	お一人お一人、毎食後の口腔ケアを行い、記録しております。必ず職員が立会い、必要に応じ援助、口腔ケアに抵抗感を表されるご利用者様には、その都度職員が必要性を説明し職員と共に行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄管理表を作成し、お一人お一人の排泄のリズムやサインを把握し、声掛け誘導を行う事により排泄の失敗を減らすよう支援させていただいております。自宅での夜間の排泄失敗を回避するためにご家族様の希望により、ポータブルトイレの使用訓練も援助しております。	排泄チェック表を活用して利用者の排泄パターンを把握するとともに、一人ひとりのタイミングに合わせて声かけ誘導を行うことにより、失禁の回数が減少した利用者もいる。トイレ内にタオルウォーマーを設置し、排泄後の清拭時に温かいタオルが利用できるように支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝食にヤクルトを提供、健康体操を日課として適度に体を動かす機会を作っています。又、十分な水分摂取を支援して便秘予防に努めております。排泄管理表にて個々の管理を行い、ご本人の希望時には腹部マッサージなども行っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者様の心身の状態に応じて入浴していただいております。個室となっておりますのでプライバシーが保たれゆっくりとご自分のペースで入浴を楽しんでいただけますよう支援しております。	利用者の希望にそって毎日の入浴が可能となっているが、宿泊の利用者は1日おきの入浴を基本としている。 季節に応じて柚子湯や菖蒲湯を取り入れ、入浴が楽しめるよう工夫している。 身体状況などに合わせて清拭や足浴で対応するなど、個々に応じた支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様の体調やご希望に合わせて、居室での静養、ソファでの休息を自由にお取りいただいております。各居室にはエアコンを設置し好みの室温で快適に眠れますよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お一人お一人の処方箋をお預かりファイルして、個々の服薬状況を全職員が把握して、毎日の服薬管理、状態の記録を行っております。健康チェック表を作成し、服薬時間を記録して飲み忘れ防止に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の生活の中で個々の能力に応じた役割を持った張りのある生活が送れますよう支援しております。洗濯物をたたんだり、食前のテーブル拭き等主婦感覚を思い出して積極的に取り組んでいただいております。好みのテレビ番組も提供しております。甘味の好きな方にはご家族様からお預かりしたおやつをお好きなときに提供して楽しんでいただいております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	四季折々の行事が体感できますよう、鯉のぼり見学や同法人の夏祭りにも参加して盆踊りを楽しんで来ました。又、近隣の保育園運動会に参加して玉手箱競技にも出場しております。	4月には奥久慈憩いの森での花見、5月には袋田の滝での鯉のぼり見物、夏には隣町にある同一法人の特別養護老人ホーム主催の夏祭り、秋には近くのりんご園でのりんご狩りに出かけられるように支援をしている。 理・美容院の利用など、利用者の希望を家族等に伝えているが、一人暮らしの利用者や家族等が付き添えない場合は職員が付き添い、買い物など希望する場所に出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者様ご本人が財布を持参して、施設に設置してある自販機からお好きな飲物を購入できますよう支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様の希望により、ご自宅へ電話を掛け交流を持ち、家族との繋がりを実感でき、安心して生活していただけますよう支援しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアから中庭がガラス越しに見られる為、草木の変化にて季節を感じていただけます。ガラス越しに太陽の光も感じていただけますが、強い日差しが不快とならないようカーテンを小まめに開閉するなど配慮しております。施設内は空調、照明等の細やかな管理を行い、心地よく過ごしていただけますよう配慮しております。	事業所内は完全バリアフリーとなっており、壁面に手摺を設置して利用者が安全に歩行ができるように配慮している。 居間からガラス越しに中庭が見え、草木の四季折々の変化を眺めながら季節が楽しめるようになっている。 居間の一角に炬燵を配置し、自由に寛げるよう配慮している。 居間に利用者と職員と一緒に制作した貼り絵や習字などの作品、折り紙で制作した暖簾、観葉植物などを飾り、明るい雰囲気の中、居心地よく過ごせるよう工夫している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール中央には大きなテーブルを設置して、コミュニケーションづくりのための共有スペースや親しい方同士が話し合える小テーブルや窓際には向かい合ってソファを設置し、自由な場所で思い思いに過ごせるよう工夫しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	宿泊の部屋はご利用様の好みのものや使い慣れた寝具等を自由に持ち込んでいただき、自宅と同じように寛いで過ごしていただけるよう配慮しております。棚に置いた介護用品等が見えない様、職員手作りのカーテンなどで覆うなど工夫しております。	泊まりの部屋にはベッド、寝具、エアコン、カーテン、チェストが備え付けられている。 利用者は使い慣れた寝具や時計、家族等の写真、利用者が折り紙で制作した風船や家族等が制作した千羽鶴などを持ち込み、自宅と同じように居心地よく過ごせる空間づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は全面バリアフリーとなっており、車椅子使用のご利用者様が自由に自走して思いのままに移動する事が出来るようになっております。又、内部壁には手摺を設置し自立歩行、安全な移動・移乗が出来ますよう配慮しております。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 サングリーンピア大子ケアセンター

作成日 平成26年4月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束の具体的な行為は、全職員が共通認識を持つ事が望まれる為、身体拘束禁止マニュアルを基に内部研修を行い、全職員で共有する事を期待する。緊急やむを得ず身体拘束する場合に備え、同意書や経過観察記録、再検討記録などの書類を整備する事を期待する。	身体拘束の具体的な行為を全職員が共通認識を持つための内部研修を実施する。又、緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書及び同意書、記録などの書類を整備する。	身体拘束禁止マニュアルを基に、内部研修を行い全職員が身体拘束の具体的な行為を認識できるようにする。又、法人で使用している書類を参考に早急に必要な書類を整備する。	6ヶ月
2	23	利用者一人ひとりの要望にそったサービスを提供するためには、日々の生活や会話の中で把握した利用者の思いや意向が重要な情報源となる為、新たに把握した情報を個人記録に記載する場合は、アンダーラインを引くなどして全職員で共有できるよう工夫することを期待する。	利用者様一人ひとりの要望にそったサービスを提供する為に、日々の生活や会話の中で新たに把握した利用者様の思いや意向を全職員が共有できるよう工夫する。	毎日の申し送りや個人記録への記入の際、ご本人様の発した言葉や行為、新たな情報などはマーカーで誰が見ても気付く様にして情報を共有してゆく。	6ヶ月
3	33	管理者や職員、協力医療機関で話しあい、重度化や終末期に向けた事業所の対応方針を定めると共に、看取りの指針や同意書を整備し、利用者や家族等に早い段階から説明して同意を得る事を期待する。	重度化や終末期に向けた事業所の対応方針を定め利用者様やご家族様に早い段階から説明して同意を得る。	重要事項説明書に重度化や終末期に向けた対応方針を明記して、契約の段階からご本人様、ご家族様へ説明して同意を得る。	6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。